

『教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）』 [医学科]

医学部医学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するため、次のような方針に基づいて教育課程を構成します。

（教育課程編成方針）

1. 豊かな教養と倫理性：豊かな人間性を有し、医師としての職責への十分な自覚のもと、生命倫理や医の倫理を遵守し、行動する能力を修得するカリキュラムを構成する。
2. コミュニケーション能力：チーム医療の一員として協調して行動し、人々と良好な関係を構築する能力を修得するカリキュラムを構成する。
3. 適応能力：絶えず進歩する医学・医療に興味を抱いて学習し、学んだ成果を取り入れる能力を修得するカリキュラムを構成する。
4. 課題探求・問題解決能力：自ら国内の地域医療や国際的な健康問題を探求し、医学情報を積極的に収集して論理的に思考する、あるいは自ら医学研究をすることで問題を解決する能力を修得するカリキュラムを構成する。
5. 基礎医学能力：個体の仕組みと外界への反応を理解し、基礎的な病因や病態を理解する能力を修得するカリキュラムを構成する。
6. 社会医学能力：地域医療を含めた社会と医学・医療の関連性を理解する能力を修得するカリキュラムを構成する。
7. 基本的臨床能力：疾患の病因・病態・診断・治療を総合的に理解する基本的な臨床能力を修得するカリキュラムを構成する。
8. 実践的臨床能力：基本的な臨床能力を用いて、具体的な臨床的問題を解決する能力を修得するカリキュラムを構成する。

（学修方法・学修過程）

1 年次には、幅広い教養と医学を学ぶ前段階の科学の知識を身につけることを目的として、教養基礎教育科目を履修する。また、人体の構造・機能の基礎を身につけるため基礎医学の知識や技能を修得するとともに、医療・社会・行動科学を履修する。

2 年次には、人体の構造・機能を詳細に学び、疾病の原因・病態・治療に関連する基礎医学の知識や技能を修得するとともに、医療・社会・行動科学を履修する。また、興味のある基礎医学を選択的に学ぶことを目的としてアドバンス基礎医学コースを履修する。

3 年次から 4 年次前半には、臓器別・器官別に全ての診療科の臨床医学を学ぶとともに、社会医学の知識や技能を修得する。また、3 年次前半には基礎医学講座・社会医学講座等に配属されて研究・実務活動に触れる研究配属、4 年次前半には興味のある臨床医学を選択的に学ぶことを目的として臨床アドバンスコースを履修する。

4 年次後半から 5 年次前半には、医学部附属病院等の医療現場で全ての診療科の実践的な診療能力を修得する診療参加型臨床実習を履修する。この間、症例ベースの演習、医師国家試験に向けた対策、医療・社会・行動科学の演習をする目的で、医学医療総合講義を履修する。

5 年次後半から 6 年次前半には、医学部附属病院および県内地域医療機関等（国際交流医療機関を含む）の医療現場で、学生の希望・選択を考慮した診療参加型臨床実習を履修する。この間、前述の医学医療総合講義を履修する。

6 年次後半には、従来から学んできた臨床医学の知識・技能を再確認し、「学士（医学）」の学位を授与するに相応しい学生であるか否かの評価を受けるために卒業試験およびアドバンス OSCE（客観的臨床能力試験）を受けるとともに、医師国家試験に備えた準備をする。